

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第7回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○新潟県南部産業団地の現状について

(2) 協議事項

○「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

3 開催日時

令和3年11月19日（金）午後6時30分から午後8時5分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

4名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：上村閨一（会長）、佐野喜治（副会長）、小川泉、笠原昇治、佐藤学、新保哲男、滝本篤透、西巻肇、橋本春美、船木貴幸、宮澤房子、望月博、山本誠信、横山一雄（委員14人中14人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所佐藤所長、本間次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ武内班長、市川主査、
（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【本間次長】

- ・会議の開催を宣言

【上村会長】

- ・挨拶

【本間次長】

- ・小川委員、望月委員の遅刻を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：橋本委員、笠原委員に依頼

【上村会長】

- ・次第3 報告事項「新潟県南部産業団地の現状について」協議に入る。
(産業立地課 塩練係長入室)

【塩練係長】

- ・資料について説明

前回の協議会で南部産業団地内の東興産業(株)から国道8号に抜けるまでの潟川を渡る橋付近の段差について質問があった件を合わせて報告する。道路課に確認したところ、市道の接続部の段差部分について、アスファルトの斜めスリ付けを年内中に行うため手続きを行っている。

【上村会長】

今程の説明についてご意見・ご質問はあるか。

【新保委員】

サンヴァーテックスが、太陽誘電の社員用住宅として建設しているとのことであるが、もし分かれば現在の社宅は何名くらい在籍していて今回造成すると何名くらいに増えるのか伺いたい。

【塩練係長】

現在の社員寮は、約150名で、今回拡張されることにより新たに180名分が確保される。

【新保委員】

分かった。

【佐野副会長】

以前に聞いた内容についてだが、E区画について今後どのような方向性を持って誘致をしていくのか。このような問題の場合にはどこが担当になるのか。産業立地課でなかったら、頸城区総合事務所長が考えるのか、あるいは市長が考えるのか、県が考えるのか。今後の方向性としてどのような考え方・見極めをしているか教えて欲しい。

【塩練係長】

E区画については、約7ヘクタールを分譲して以降はずっと残っている。これまで

も商業施設の誘致を行ってきたが分譲が進んでいないのが現状である。E区画は、南部産業団地の中では良い区画で残っているので、商業業種以外の業態の業者からは何件かの問い合わせはもらっている。一方で地区計画がかかっているので、例えば24時間操業であったり音が出たりして地域住民の生活に支障が出るような業種の立地は制限をかけている。そのような中で商業施設の誘致を県と市で連携をしながら行っている。県と市では、E区画を今後どのように分譲していくかを協議している。100%商業施設で持って行くのが難しいのであれば、今後商業以外の誘致も考えて地域の皆様と検討を進めて行かなければならないと考えている。

【佐野副会長】

分かった。

【笠原委員】

以前E区画については商業の名乗りがあって、立地が決定寸前のところまで行ったが立ち消えになったと聞いている。何が障害となって立ち消えになったかを教えて欲しい。

【塩練係長】

前々回のこの協議会での回答と同じような回答になってしまうかもしれないが、先程もお話した様にスーパーとホームセンターの引き合いが10年程前にあった様だが、具体的には店舗としての生業が成立するかという点が要因であったと確認している。商圈といって半径何キロ以内の人口がどのくらいいるかといった点を見ながら出店を考えていくという事であった。ここは工業地域であって住宅地域ではないのでその店舗にどのくらいの人が出るかといった点で出店には至らなかった。

【笠原委員】

保倉川に橋脚がかかり道路が国道253号に繋がるといった状況になれば、出店があるのではという噂も聞いているが、市としてもそのような見込みを立てて誘致しているのかどうかを聞きたい。

【塩練係長】

市道黒井藤野新田線の計画が全線開通まで何年かかるかが不明なのでPRする中ではそのような道路の計画もあるという事も伝えながら紹介をしていきたいと考えている。

【笠原委員】

分かった。

【上村会長】

折角なのでこの件について関連の質問はあるか。

【船木委員】

太陽誘電に勤めていると思われる方が、雪や雨が降る中、国道8号線沿いのダイレックスとナルスに自転車で買い物に行かれている。笠原委員の言われるように、スーパーが出来れば南川にも団地があるので見込みは十分あると思う。市としてももっとプッシュして欲しいと思う。

【上村会長】

担当課からの答弁の中で、地域も含めてどうするのかという事であったが、所長として何か考えているか。

【佐藤所長】

担当の産業立地課の話の中で交通網や立地の事も含めて、企業に対して営業をしているということで、企業もその商圈でどれだけ買い物をしてくれる人がいるのかという事を踏まえて検討されている。そこで企業側ではその段階では事業が見込めないと判断をして、以前は出店を見合わせた。今後も企業側としては、そのような考え方で検討をするし市としても立地のメリットを伝えながら営業をかけていくということなのでそれは変わらないと思う。

【上村会長】

今の答弁を伺うと県が窓口としてやるのではなくて、市も一緒になってやるという印象を受けている。しかも頸城区の意向も伺うと聞き取れたが、是非前向きに進めて欲しいと考えている。できればそういう報告の中で市道黒井藤野新田線の橋が開通したらどれだけ商圈の流入人口があるのか教えて欲しい。ここにスーパーが出来れば頸城区は活性化するのではないかと考えているので是非検討して頂きたい。

・その他委員に質疑等を求めるがなし。

(産業立地課 塩練係長退室)

【上村会長】

次第4 協議事項「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組についてに入る。

【武内班長】

・資料について説明

【上村会長】

アンケートの間1、会議の開催日時について午後6時30分というのは地域協議会委員改選後の最初の協議会で確認しあった事項と思うが、皆さんの意見次第では変えてはいけないという事ではないので、それに縛られることなく意見を伺いたい。

【横山委員】

月に一度行う協議会なので、例えば第三木曜日とかに決定して行った方が出席率も良いのではないかと思う。大体10日少し前に連絡をもらうが、勤めている委員も段々多くなってきているので、きちんと出席してもらうには、計画的に日にちを設定した方が良いと私は考える。

【滝本委員】

前会長の時は、月末開催が非常に多かった。月末は勤め人や商売をしている人にとっては、締め日といった事等が関係してくるので、どうしても月末は避けてもらいたい。そうすれば、若い人や勤め人は参加がしやすくなるのではと考えている。あとは、会議の内容によって時間帯の変更も有りうると考えている。

【上村会長】

・その他委員に質疑等を求めるがなし。

まず、間1の日時について二人の意見を伺ったが、審議事項であり、事務局からアンケートを用意してもらい、皆さんの意見を集約することになっているので、継続審議として早いうちに皆さんの合意を得たいと考えているがどうか。

【笠原委員】

新しく委員になられた方や若い人はどんどん自分の意見を出してもらわないとなかなか協議会の活性化に繋がらないと思うのでぜひ発言をお願いしたい。

【上村会長】

では、笠原委員の発言もあるので問の1番の方からまず意見を頂戴する。

【小川委員】

1番については、一応会社勤めをしているが、若くはないので時間には猶予がある。現状のままで良いとアンケートに答えた。

2番については、あまり良い考えが出なかったが結局住民に周知させないと駄目ということであるが、会合を持つ訳にもいかない、集める訳にもいかないので「たより」やチラシを出す回数を増やしたらどうか。現状年2回となっているところを毎月出す

か何か月に1回出すのかはあるが、まずは数を出してみ、それで憶えて頂くというのが良いと思う。

3点目は、子どもたちに聞くと言っても子どもたちがどのように判断しているか分からないし、ただ聞いても分からないと思う。とりあえず聞くのであれば、集める訳にはいかないし町内会でどうしろという訳にはいかない、アンケート調査の方が良いかなという考えで回答した。

【笠原委員】

1番については今までどおりで、若い人がこの時間で問題だというのであれば出してもらいたい。

2番目については、私もチラシで情報提供して地域協議会のあり方とかどういう趣旨でやっているかを発信し、見てもらう方法を委員の中で検討していけば良いと思う。

3番目は、子どもたち、取り分け中学生の生徒会や育成会もそうだが子どもたちが将来どのような地域にしたいのか、協議会委員が中学校に行って聞いてみるのも一つの方法かなと考える。待っているばかりでなくいろいろなところへ出向いて意見を聞くというのが大事かと思う。全員でなくても委員をいくつかの班に分けていくのも良いかなと考える。

【佐藤委員】

1番については、横山委員が言われた様に事前に決めてもらえば、それに合わせて自分のスケジュールを組めると考えている。

2番、3番については、ネットの活用という部分で現代にあうITの部分で何か活かさないか。そこに取り組んで方向性を持って行くのが一つと考えている。

【新保委員】

1番については、私も横山委員が発言した内容に同意見である。ただし、内容によっては事務局でアンケートの集計などに結構時間がかかるケースがあるので、その時には連絡を入れて変更するといった形で良いと思う。案内通知を出すのもただではないので、そういった部分でも公費の削減に繋がるので、第何週のこの日と決めた方が良い。

2番目の地域協議会が住民に知られていないというのは、広報でお知らせするという内容もあるが、ちょっと違った視点から頸城区民が本当に困っていることや困っているが市がなかなか動いてくれないといった事柄の課題に取り組むことによ

地域協議会の有効性や地域協議会が頑張ってくれているということが知られると思う。例えば去年の雪害対策について具体的な区の実践であるとかそういった事を課題として取り組んで、それを情報として定期的に発信すれば区民の皆さんが地域協議会に関心を持ってくれるのではないかな。

3番目の子どもたちに関しては、アンケートを取るのも一つの方法かなと思う。

【滝本委員】

1番目については、先程の発言のとおり。

2番目については、いろんな方が参画する形を作ってもらいたいので、市民活動団体の代表の方々と例えば合同会議で普段どういう活動をしているのかというのを聞き取る機会を設けるのが大事である。

3番目については、子どもたちに関しては各小中学校の児童会・生徒会の代表からこの会議等に参画してもらい子どもたちの代表も入れた形で意見を述べてもらうといった機会を設けるのも面白いと思う。

【西巻委員】

1番目については、時間的には現状で良いと思うし、日時に関しては月末を外してもらって幅を持たせて開催するので良いと思う。

2番目は、今の広報紙が写真・活字だけなので編集の在り方を考えてほしい。手に取ってもらえるような広報紙の紙面にできたら良いと感じる。

それから3番目は、中学生に意見を聞くのは大事だと考えるが、ある程度こちらから地域協議会の情報を流してあげて、それに対して1回簡単な意識調査の様なものをして、それに答える形で意見交換みたいなことが出来れば良いかなと感じている。

【船木委員】

1番目については、月末を避けて日にちを決めてもらいたい。

2番目については、先の委員の発言内容でほぼ良いが、頸城区に限らず市全体でなぜ地域協議会ができたのか、そもそも地域自治区とは何かということを住民は分からないと思う。そこは私たちが一生懸命やっても高が知れているので、行政がしっかり市民に周知してもらえればと思う。

3番目については、今まで地域活動支援事業で頸城中学校に楽器や法被を支援している。ユニフォームもそうだが子どもたちはこの楽器や法被のお金が市から出ていることは知っていると思う。後は、行政の方々にももう少し接点となる部分を作って貰わ

ないと我々も仕事を持っているのでなかなか厳しいと思う。

【宮澤委員】

1 番目については、前も話したが、もう少し早い時間の開催だとありがたいが、皆さんが今までどおりで良いと言われれば私がどうこういう事はない。

2 番目、3 番目については、市長がどのようにしていくか市長の動き次第という事で期待したい。

他に、地域協議会はいろいろな人に経験をしてもらいたいと思った。4 年の任期は長いと感じている。私はもう少し短くしてたくさんの方に経験をしてもらいたい。

【望月委員】

1 番目については、商売をしていると 5、10 日と月末は支払いがあったり集金があったりで忙しいので避けてもらいたいし、振興会や町内会や農家組合長の会議もあるので、曜日も含めあらかじめ決めてもらうとありがたい。時間はどちらかというと午後 6 時 30 分が良い。

2 番目は、地域に出かけていくしかないかと思う。これで 5 期目になるが、地域協議会は何をやっているのかと言われる。頸城区には 3 つの振興会があるが、そこに向いて行っているいろんな問題を話し合うのが良いと思う。そして、必要に応じて町内会長から地域の課題を聞いて返答するのが良いと思う。

3 番目は、頸城区には小学校 3 つと中学校が 1 つあるが、それぞれの学校に出向き児童会、生徒会、PTA とか育成会の代表と、地域協議会委員を割り振りして話を聞いてくるのが大事だと思う。市長の諮問だけに答えるのではなく、子どもたちの意見を聞いてそれに対してどう考えているかというのを答えてあげるのが良い。地域の課題や問題についてもきちんと把握していけば、市長と話が出来る訳だからそういった地域協議会になって行けば認知されてくると思う。

【山本委員】

1 番目については、今までどおりで良いと思う。

2 番目については、1、2 か月程度に 1 回くらい協議会としての活動報告をチラシなどで知らせ、意見などを直接、委員または事務局に知らせてもらい我々が検討していけばよいと思う。

3 番目については、自分は一年に一回は地区の子ども会の総会に出ていた。学校の後援会や PTA の方々と意見交換をして、今後どのような方向に持って行けば良いか

ということを考える必要がある。

【横山委員】

1 番目については、先程言ったとおりである。

2 番目、3 番目は、ほとんど同じになるのではないかと考えている。地域の人たちに知られていない、地域協議会が何をやっているのかと言われるのは、自主的審議事項をやらないからだと思う。ただ、報告事項だけ聞いて終わりだということでは、地域の人たちも子どもたちも、地域協議会は何をやっているのかと思う。現在、私たちが一番時間をとっているのは、活動支援事業の採択になっていて、これは本当におかしいと思う。先月、地域協議会が開催されなかったが、そういう時に自主的審議事項をやるべきだと思う。その時には事務局がいなくても我々で勉強会が出来る訳だから、そういうことをやっていく様な形にしないと誰にも認められない。

それと同時にどうしてもやらなければならないのは、出前地域協議会である。いろいろなサークルや団体に、全員で行くのは難しいと思うので、班編成をして話し合いに行き、何か困っていることはあるのかとか、こういう事をして欲しいといったことなど私たちが受け止めて協議ができるようなものを持って来なければいけないと思う。そうでなければ、地域の人たちに認められることは無いと思う。そういう事をしないで、ただ地域協議会委員ですとか活動支援事業の時に一生懸命頑張っているというだけでは駄目だと思う。月に1回の地域協議会でなくても良いと思う。今日はこの会合、団体、サークルと話し合いをしたいのだという計画を立ててお互い連絡を取れば出来ないことは無いと思う。そういうことをまずやって行く必要がある。そうするとこの2番目・3番目については自然と解消されていくのではないかと考える。

【橋本委員】

1 番目については、地域協議会委員になるにあたって月の最終週の水曜日が多いという事で大体この日かなという事で予定を組んで来た。小学校と中学校のPTAに参加することもあるのであらかじめ日程が決まっているとありがたい。

2 番目と3 番目について、船木委員の意見に近いが、私も入るまで地域協議会委員が何をしているか分からなくて、頸城区にどのような問題があってどのような人が解決していてどういった話し合いがあるのかという事を全く知らなかった。おそらく興味が無いから知ろうとしないし、認知されないのだと思う。なぜ子どもたちの意見を聞きに行くかということだが、こちらから何かを投げかければそれについて調べても

らえると思う。調べれば興味が出るかも知れないし、このような人たちが頸城区のために何かしてくれるというところに繋がるかもしれないので、地域の意見を聞き、子どもたちの意見を聞くという事は、興味を持ってもらい頸城区を良くしようとする人たちがいるという事を知ってもらう事に繋がると考えている。子どもたちの意見を100%頼りにするといった事では無く、興味を持ってもらう一環として子どもたちや住民の意見を聞く機会があれば良いと思った。

中学生に関しては簡単な情報紙で、今回の地域協議会はこんな話し合いをしたとか、頸城区でこんな問題があるので私たちはこんな活動をしましたということを小中学生向けに1枚に分かりやすくまとめることもできると思った。これについては、可能であれば私が作成して小中学校に届けても良いと思う。

【佐野副会長】

1番目については、私自身は現状で構わないと思っている。その都度都合が悪ければ皆さんと相談して変えてもらっても良いと思う。

2番目については、意見交換会の方法ということで言えば、前回（令和2年10月20日）、各種団体主体でやったと思うが、それ以前は我々が各地域に出向いて住民の意見を聞くというのが主体だった。以前は、単に我々地域協議会の意見交換会というだけではなくて頸城区総合事務所の認知を得るために合同で意見交換会を開いたという経緯がある。地域協議会が全く知られていないという言い方があるが、私が接触している地域の住民はそれなりに知っている人は知っている。

3番目の地域協議会として子どもたちの意見を聞くという話は、今の2番に関連してやって行けば間に合うのではないかと思う。

別の話になるが、自主的審議事項に係る部会の設置についてという部会の内規がある。「部会は必要に応じて団体等や市関係者等の意見交換を行うものとする」とある。先程、横山委員が意見を述べたが、私の立場からすれば、あえて部会の横山座長と笠原座長により一層奮起をお願いしたい。そして部会から自主的審議事項に進められるようなストーリーを是非とも考えて頂きたい。

【横山委員】

佐野副会長が言ったことについて、私はよく知っている。前の地域協議会の資料を読んで知っているがあえて述べた。今年は、2つの部会で同じ議題をやるという事で合意したが、そこは私たちが何らかの方法を持って行っても良い。ただ、会長名で「報

告事項が少ないので、総合事務所と相談した上で中止します」と文章が来れば何も言えない。反論する様なことで誠に申し訳ないが、もっときちんとしなさいといけないという事を私は言っている。

【佐野副会長】

ご意見を大切に受け止める。

それで、子供会育成会ということになると、まさに部会で話が出ている様に公民館分館、各地区の振興会が密接な関係を元々持っていると思う。だから公民館分館活動が静かだというのは、逆にそちらの方から話をして力添えしてもらったら良いと思う。そして、子供会育成会というのは他区で行くとまちづくり振興会のようなところに含まれている。そこには町内会とか各種団体や各地区振興会が含まれていると思うが、それを取り仕切っているのが頸城区ではくびき振興会であるというのが私の認識である。そういう意味では、我々も頑張らなければいけないこともあると思うが、くびき振興会に一層奮起してほしいと思う。

【上村会長】

先程申し上げた様に、この協議は継続審議という事で次回以降にまとめることとし、一旦整理をさせてもらいたいと思っている。ただし、地域協議会委員というのは私共それぞれが立候補をして、定員を超えれば選挙をするという制度の中で、選ばれた人間であるということをしっかり自覚してもらいたい。そして、地域自治区の制度の中で頸城区独自のルールも皆さんで決めて進めていくことになっているのでそういう形で協議を継続していきたいと思う。

それでは、今までの中で何かあるか。

【武内班長】

会長からは、今回の皆さんの意見をまとめた上で継続的に審議していくという事なので本日の意見をまとめたうえで提示させて頂く。

【上村会長】

事務局の発言のとおり今日の協議事項については是非適切なものに進めて行きたいと思う。それでは、協議事項についてはこの辺で区切らせてもらいたい。

- ・協議事項を終了し、その他に入る。

【市川主査】

- ・地域活動支援事業（お宝のこす会）の内容変更についての説明

【本間次長】

- ・上越市新年祝賀会・頸城区の新年祝賀会の説明
- ・頸北地区地域協議会委員合同研修会の説明
- ・次回の地域協議会の日程について 12月13日月曜日で提案

【上村会長】

- ・次回の地域協議会 12月13日月曜日
- ・その他委員に質疑等を求める。なし。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL：025-530-2311（内線 212）
E-mail：kubiki-ku@city.ioetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。